

渡辺大三 NEWS



●発行 市議会会派 リベラル保守の会 ●編集 情報公開こがねい / 渡辺大三事務所
〒184-0012 小金井市中町 3-25-10-201 電話 090-3345-6929 FAX 042-381-5074
watanabedaizou@gmail.com <https://twitter.com/watanabedaizou/>

稲葉市長が「新・福社会館」の設計予算を撤回 法律違反の疑い 市議会は23年ぶりの連合審査へ

いつもお世話になりありがとうございます。

2月23日に始まった定例議会が、2日間の会期延長の末、3月25日に終わりましたので、その内容をお知らせする「渡辺大三NEWS」をお配りしております。お忙しいと思いますが、御一読いただければ幸いです。

稲葉市長は、来年度一般会計当初予算に、新・福社会館の設計予算4822万円を計上しました。

内容は、設計業務、ポーリング調査業務、地下埋設物調査業務などを一括して「共同研究」と名付け、学校法人法政大学と一者随意契約(無競争の契約)するというものでした。

稲葉市長は、「福社会館の設計を自治体と大学が共同研究で行うのは“全国初”」と宣伝し、共同研究の調印式の案内をマスコミ各社に送付していましたが、その後、この調印式は「公務の都合」を理由に無期延期となりました。真の理由は謎です。

「無期延期」後に開催された市議会の予算特別委員会では、野党側から、「法政大学との設計契約は、建築士法に違反するのではないか」との趣旨の質問がなされました。建築士法には、設計事務所として登録していない者は設計契約を締結できないとの規定があります。

稲葉市長は答弁不能となり、建築士法に違反しないのかどうかを明らかにしないまま、4822万円の設計予算を全額削除しました。・・・「ノックダウン」「ギブアップ」という感じでした。

この問題では、地方自治法に違反しないのかについても疑義があります。地方自治法や同法を補完する政令では、随意契約(無競争の契約)ができる場合を詳細に定めておりますが、今回のような契約が随意契約できそうな規定は見当たりません。

この件についても、稲葉市長は見解を明らかにしていません。

事態を重く見た市議会側は、すべての常任委員会と特別委員会による「連合審査会」の開催を全会一致で決定しました。

小金井市議会で、複数の委員会の連合審査会が開催されるのは、平成3年以来、23年半ぶりのこととなります。また、私が調

東センター委託予算 「執行停止を」 全会一致で決議

稲葉市長は、来年度一般会計予算に、今年8月から東センター(公民館・図書館)をNPO法人に委託する予算を計上しました。

同NPO法人は、市が市民に呼びかけて設立した官製NPO法人で、昨年4月から「きたまちセンター」の運営を行なっています。

しかし、市議会の予算特別委員会では、与党系会派から「12月に事務局長が辞職したばかりなのに、後任の事務局長が3月に辞職する」などの問題点が指摘されました。

また、私の質疑で、このNPO法人が約10か月にわたって理事会を一度も開いていない事実や、市側が長期にわたる非開催を知っていて放置していた実態も明らかになりました。

事態を重く見た市議会全会派は水面下での協議を続け、3月25日の最終本会議で、「東センター委託予算の執行停止を求める決議」を全会一致で可決しました。

その後、3月27日には、同NPO法人の理事長が、理由を明らかにせず、突然辞職を表明するに至りました。

公共施設の運営を行うNPO法人なので、市民の理解を得られる運営を行なってもらいたいものです。

べた範囲では、「すべて」の常任委員会と特別委員会による連合審査会の事例は他市議会には見当たりませんでした。ひょっとすると、これこそ「全国初」かもしれません。

連合審査会は4月14日午前10時から開催される見込みです。傍聴やUstream中継の視聴をお願い申し上げます。

稲葉市長が「仮移転その他」を約束

これまで、現・福祉会館の耐震調査(平成22年度に実施)の詳細な内容が市民や市議会に示されることはありませんでした。

先日終わった定例議会における私の資料提出要求で、その概要書が市議会に配布されました。

その内容は以下の通りでした。

- ①耐震診断の結果、本建物のX方向は全階、Y方向は1階～塔屋1階が目標の耐震性能を下回る結果と判定される。
- ②3フレームの1・2階B、C通り柱及び4フレームの3階B通り柱は、下階壁抜け柱となっており、部分崩壊の危険性がある。
- ③コンクリート圧縮試験結果より、全ての階の採用強度が低強度となっている。
- ④履歴外観調査及び非構造部材調査より、劣化の著しい箇所が多数見受けられる。
- ⑤必要耐震強度は0.75だが、多くの階の強度はそれを大きく下回っている。

稲葉市長は、それらのデータを示すこともなく、これまで4年間、耐震措置を行わずに放置し、そして今後3年以上、耐震措置を行わないまま市民に使わせ続ける方針でした。

しかし、「人命優先」「人命尊重」の考えに立つ、私を含む多くの市議会議員が、緊急の仮移転を市長に要求。

追い詰められた市長は、予算委員会において、「仮移転その他の措置を緊急に講じる」と約束するに至りました。

「その他」が何を意味するのかは現時点で不明です。

具体的な議論は、4月14日の連合審査会で行われることとなります。

市民検討委員会設置条例案を提出

稲葉市長は、当初、新・福祉会館の建設に関する市民検討委員会の設置を約束していましたが、現在は、「設置しない」との方針を明らかにしています。

安全で、安心で、便利で、コストパフォーマンスに優れた福祉会館を建設するためには、専門家を交えた市民参加での検討が不可欠です。市民の方々からも市民検討委員会の設置を求める陳情書が複数提出されています。

そこで私は「小金井市福祉会館建設基本計画策定市民検討委員会設置条例案」を起草。斉藤議員(こがねい市民会議)にご協力いただき、連名で同条例案を提出しました。

同条例案は、4月14日の連合審査会で審査されます。

渡辺大三の自己紹介

◎1966(昭和41)年、岩手県水沢市(現:奥州市)生まれ。秋田県横手市・宮城県仙台市・山形県山形市を経て、小学校3年生のときに小金井市に転入。◎小金井市立本町小学校・小金井第一中学校、東京都立小金井北高等学校、中央大学法学部政治学科卒業。

◎株式会社河北新報社(本社=仙台市)に新聞記者として就職、編集局配属。同社退職後、小金井市に戻り地元衆議院議員の私設秘書を2年間務める。

◎1993(平成5)年、26歳で小金井市議会議員選挙に初当選。以降、6期連続当選(直近3回の選挙は無所属で立候補し当選)。現在に至る。

◎現在=議会関係では、議会運営委員、総務企画委員、行財政改革調査特別委員、議会報編集委員、十一市競輪事業組合議会議員、六市競艇事業組合議会議員、所属会派「リベラル保守の会」副幹事長、を務める。地域では、小金井市商工会参与、小金井市商工会総代、貫井北町商工振興会事務局長、中町親愛会相談役、中央大学学会(同窓会)小金井支部幹事、東京都立小金井北高等学校同窓会幹事長などを務める。政治関係では、地域政党「リベラル保守の会」事務局長、地域政党「自由を守る会」事務局長、「情報公開こがねい」共同代表を兼務。

◎趣味=ダイエットと適度な筋トレ、フルート(超初心者です)、カラオケ、愛犬ロクスケ♂との散歩、料理。◎身長=179cm 体重=68kg前後を変動中。

リベラル保守の会 会員募集中

小金井を変える地域政党「リベラル保守の会」では、会員を募集しております。所属している小金井市議会議員は、渡辺大三、百瀬和浩の2名です。

年会費は1000円です。

ご入会いただいた皆様には、定期的にニュースをお送りし、また、市政報告会や各種催事のご案内をいたします。

お申込み、お問い合わせ、ご意見ご要望は、下記メールアドレスまでお気軽に。
watanabedaizou@gmail.com